

岐阜市の繊維問屋街の現状

市街地再開発事業と併せた防火対策

地震防災の対策を考える上で、木造密集市街地は延焼の危険性が非常に高く、全国的に問題となっている。岐阜県におけるその対策方法は、市街地再開発事業を行い、細分化された宅地を統合して高度利用し、オープンスペースや公共施設等を生み出す手立てがとられている。



岐阜駅前の繊維問屋街は、老朽化・空き店舗が目立つ木造密集市街地であり、特に地震による火災発生時には、延焼することが予想される。繊維問屋街の区画の一部は、再開発事業により、大規模な高層ビルに変化した(右図)。



繊維問屋街の成り立ち

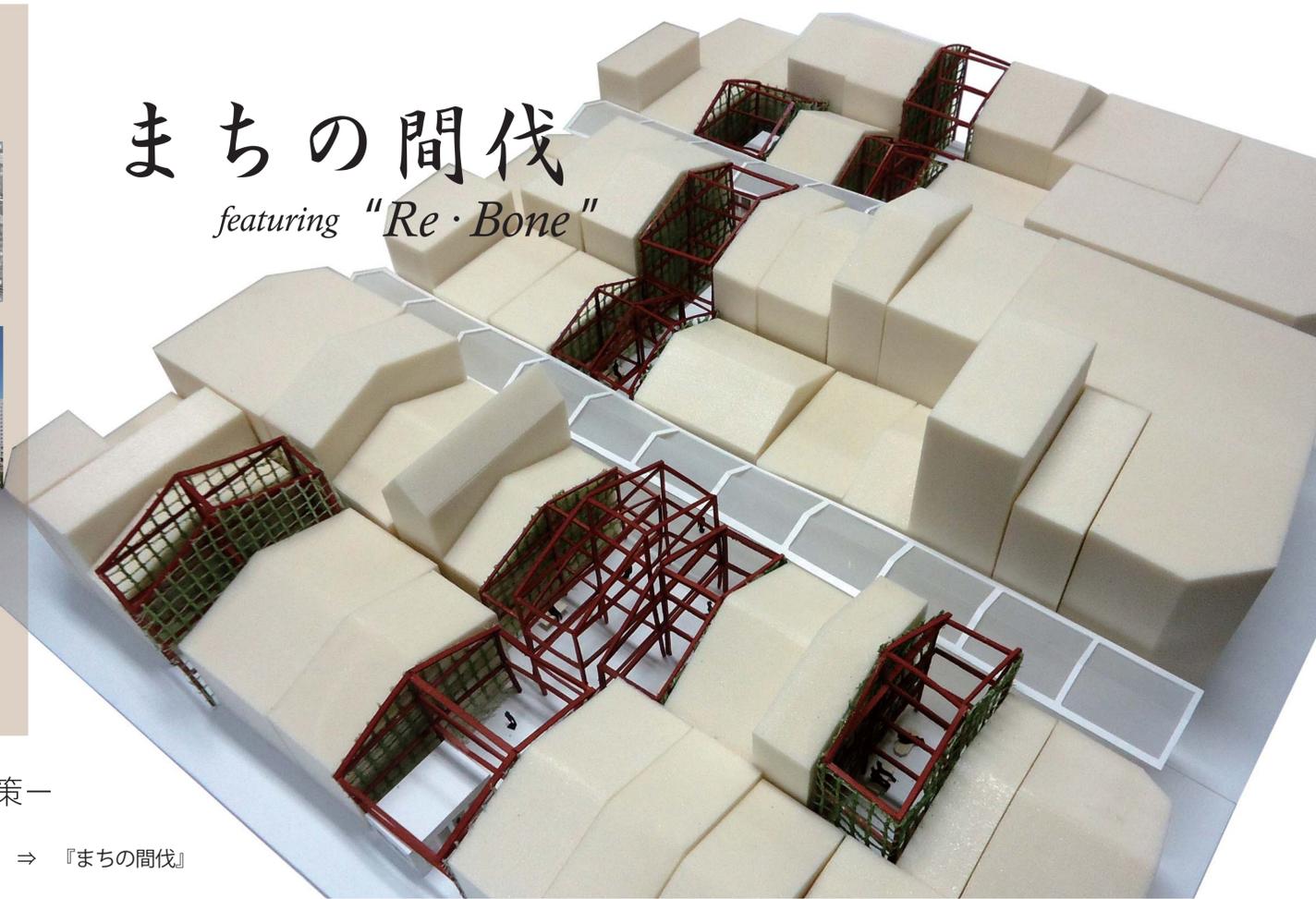


現状の岐阜市・繊維問屋街の様子

繊維問屋街は、戦後、バラック小屋をつくり衣服を集めて売ることが始まりとされている。その後、東京・大阪に並ぶ三大問屋街として繁栄した歴史を持つ。このような問屋街に蓄積されてきた物語や街の細かい区画は、街の資源である。現在も残る卸問屋街の生活景を活かしながら、近く迫る東海・東南海や南海トラフ等の地震による火災延焼の対策を提案する。

まちの間伐

featuring "Re·Bone"



一木造密集市街地の地震による延焼防止策

- ・火災時の延焼防止
 - ・卸問屋街の生活景を生かす
- 細かい区画を活かした延焼防止策 ⇒ 『まちの間伐』

「まちの間伐」とは…?

森の間伐

- ・暗い
 - ・土壌養分の低下
 - ・森林全体の木が弱い
- 間伐
- ・光が射す
 - ・下層植生が繁殖 → 土壌養分が豊か
 - ・生育が良くなる

まちの間伐

- ・延焼の恐れ
 - ・建物の老朽化
 - ・空き家の増加
 - ・活気がない
- 現状
- 間伐 = 家(空家)を間引く
- 提案
- ・延焼の防止、軽減
 - ・光や風が入る
 - ・間引いた空間を有効的に活用 → まち全体の養分となるような役割

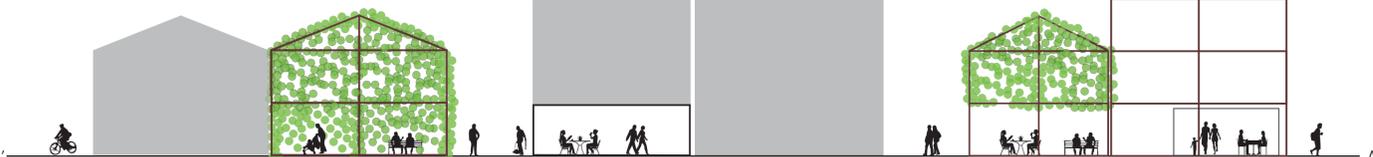
空き家を間伐することにより、細かな区画を生かしながら延焼の防止・軽減ができる。日常生活でその空間を有効に利用することで、衰退している提案区域に影響を与える。

※平成24年度、岐阜県が実施の「商店街の空き店舗等実態調査」によると、岐阜駅を中心とした岐阜市中心部の空き店舗及び元店舗の廃屋数は、全体の約16%

対象地平面図



断面図 S = 1/200



間伐した区画に"Re·Bone"を構成

"Re·Bone"とは…?

木造住宅の骨組みを再利用した、延焼を防止する構造



木造建造物の骨組みを残すワケ

- ① 既存の骨組みに少し手を加えるだけで、防火帯になる。
- ② 今までの問屋街で蓄積されてきたものに、新たな役割を加えることで、まちの資源として残る。

木造の骨組みに防火機能をつける

→ Plan1: ガラス塗料の塗布
骨組みの木材に、ガラス塗料のコーティングを施し、防腐・防水・防火機能を付加する。

→ Plan2: 壁面緑化
骨組みの側面に壁面緑化を施し、隣接する建築物から飛び火を防ぐ。植物は、通年含水率が高い常緑樹を用いる。

"Re·Bone"のもつ防火機能



"Re·Bone"の日常的な使い方

プレハブの設置



-プレハブの特徴-

1. 移動可能 → 空間の使い方が自由
2. 不燃材料
3. 問屋街は、戦後にバラック小屋で衣服を売り出したのが始まりで、街を意味するもの。
4. 地震災害時は、避難所や仮設住宅として使える。

-プレハブの利用方法-

- ① 新規事業者が商業店舗として、テナントとする。
- ② 新規事業者と周りの商業店舗や住人とのコミュニティが形成される。
- ③ コミュニティが造られた後、新規事業者はプレハブから問屋街の空家へ店舗を移す。
- ④ 空家の管理が行き届くことで、火災発生率が低下する。

Open Spaceの設置

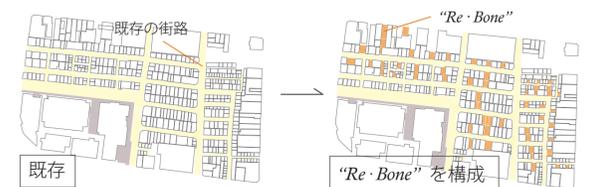
街の回遊性の向上、自由な交流と滞留場



"Re·Bone"によって、滞留空間でありながら、通過できる回遊性の高い空間を生み出す。住民にとっては、"Re·Bone"が交流のキッカケとなり、強いコミュニティがつけられる。また、再度まちの魅力を認識できる機会となる。来訪者にとっては、問屋街の様子や、まちの機能を楽しむことができる空間を創出する。

"Re·Bone"の配置の仕方

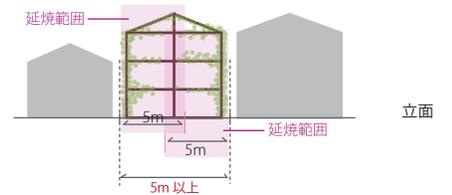
Rule 1 "Re·Bone"は街路間を直線的に通す



Rule 2 空間の幅員は、原則5m以上を確保する

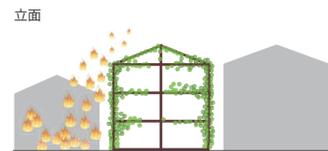
建築基準法による延焼の恐れのある建物部分 → 敷地境界線から1階は3m以下、2階以上は5m以下

"Re·Bone"は幅員を5m以上空けて配置する。



Rule 3 高さのある木造建築を選出する

火災発生時の風力によって、飛火で延焼する危険性がある。飛火による延焼防止のために、"Re·Bone"は高い木造建築物を選出する。



地震による火災発生時

地震発生、それに伴う火災発生

